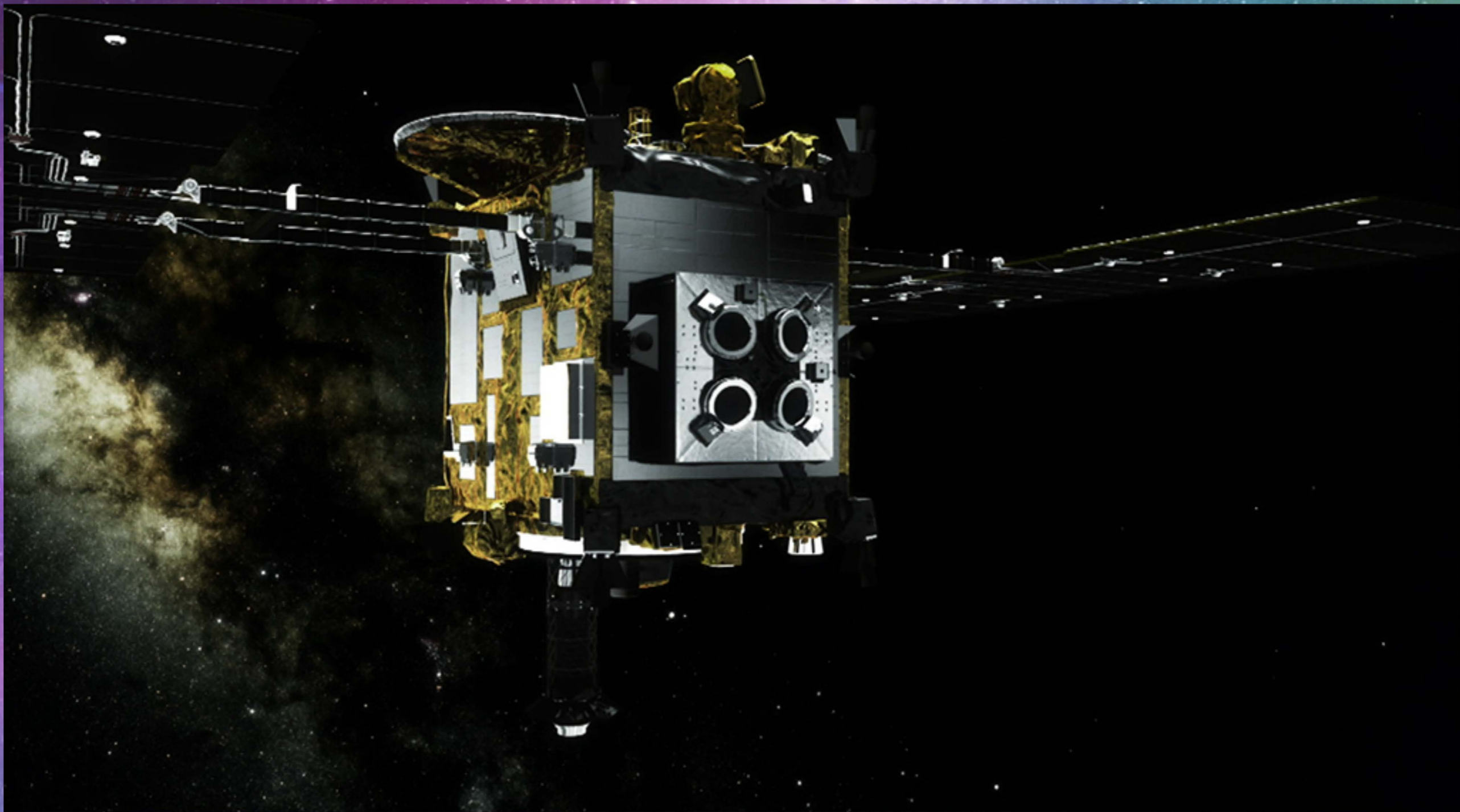


10月29日の放送

大宇宙の航海術 狙った天体になぜ行ける？



果てしなく広がる大宇宙。何もない宇宙空間を探査機などはどのように航海しているのか？

実は、日本の宇宙航海術は世界トップレベルともいえる。「初代はやぶさ」のように遠くの天体に着陸し、地球に戻って来た例は他にないからだ。これまで、日本は天体の重力を使って速度を変えるスイングバイや、緻密な軌道計算、さらに太陽の光を推進力に変える方法など、さまざまな航海術を磨き上げてきた。

2015年12月3日には「はやぶさ2」がスイングバイを行って地球を飛び出し、いよいよ小惑星への航海に出発。12月7日には金星の軌道投入に一旦は失敗した「あかつき」が、5年の歳月を経て、再投入に挑む予定だ。いずれのケースも日本の高度な航海術が存分に発揮されることが期待されている。

世界トップレベルを誇る日本の宇宙航海術から、何もない宇宙空間をどのように進むのかというミステリーを紐解く。そしてやがて訪れる「太陽系大航海時代」を描く。

放送日時

10月29日（木）午後10時00分～

11月5日（木）午前0時00分～（再）